

歯を大切に 歯っぴー!! なつまつり

「歯を大切に」をテーマに親子で楽しむ、歯っぴー!! なつまつり（役場保健環境課主催）が、6月19日（日）にボランティアセンターで行われました。

これは、乳幼児の健康づくりと歯の保健衛生意識の高揚を目的に、須恵町歯科医師会、須恵おはなし会、食生活改善推進会、杉の子文庫布の絵本の会、わん・ぴいす、須恵高校学生ボランティア



アの協力を得て開催されたものです。



この日は、平成16年5月から同17年4月に実施した、3歳児健診受診者で虫歯がなかった幼児に表彰状が贈られました。また、虫歯チェックやブラッシング方法など歯に関するイベントや、親子でのクッキーづくりなど盛りだくさんの催し物で、大人から子どもまでたくさんの人でにぎわっていました。

布絵本のお部屋

福祉バスのバス停が増えました



福祉センターを中心に、町内を走っている福祉バスのバス停が増えました。

新たに設置されたバス停は、須恵井尻線の大賀薬局前、藤浦区内の久我記念館入口と市場池前、上須恵区内の上須恵消防格納庫前です。各バス停の時刻表は別表のとおりです。

みなさんお気軽に、ご利用ください。

問合せ先 役場福祉課

☎932-1151

(別表)

大賀薬局前	上須恵消防格納庫前
9:18	9:51
10:23	10:56
11:28	12:01
13:23	13:56
14:28	15:01
15:33	16:06
16:38	
市場池前	久我記念館入口
9:12	9:12
10:37	10:37
12:02	12:02
14:22	14:22
15:52	15:52

水道メーター器交換にご協力ください

水道メーター器の使用有効期間は、計量法に基づき8年間と定められています。この使用期限を迎えるものは、町が委託した須恵町水道事業指定店を通して、交換工事を行なっています。今回、平成10年に設置したメーター器を今月下旬から順次交換いたしますので、ご協力をお願いいたします。

- ・交換時のお願い
- ・交換作業は施工許可書を携帯

した担当者が訪れ、細心の注意をはらって行いますが、まれに空気が入ることがあります。蛇口をあけて、水道管内の空気を排出してください。

- ・メーターボックス上の自動車などは、交換作業時に移動していただく場合があります。
- ・お留守の場合でも交換させていただきます。
- ・この交換工事で、代金をいただくことはありません。



問合せ先
役場水道課
☎932-1151

須恵区布絵本の会が 大きな鯉のぼりをプレゼント

須恵区布絵本の会（吉松喜美子代表）が、7月5日（火）にボランティアセンター内の子育てあそびのひろば「つくしんぼ」に、布で作った大きな鯉のぼりトンネルと布の絵本を寄贈しました。



くぐりぬけて遊ぶことができます。



同会員のみなさんが、約2週間

かけて作りあげました。この日、同センターを訪れていた保護者や子どもたちの前で披露されると、子どもたちはさっそく中をくぐって遊んでいました。

同会員のみなさんは「お母さんと子どもたちの輪が広がり、この鯉のぼりが子育てに少しでも役に立てば幸いです」と話されていました。

平野稔さんが屏風などを寄贈

「今日で、ダイヤモンド婚の結婚60周年を迎えます。記念



に屏風と200万円を受け取ってください」と、甲植木区在住の平野稔さん（88歳）とリエさん（85歳）ご夫婦が、日本画家水上市泰生作の屏風と200万円を、7月5日（火）に本町に寄贈されました。

平野さんご夫婦は昭和18年に結婚。その後、ご主人の稔さんは約2年間の徴兵期間があり同21年4月に帰郷されました。このため、本

年7月5日が実際の結婚60周年記念ということで、今回の寄贈となりました。

寄贈された屏風は、縦176cm、横176cmで、竹垣に朝顔の花が鮮やかに描かれています。また、200万円は須恵町の将来を担う青少年の育成に役立てて欲しいと贈られました。

稔さんは「まさか88年も生きると思わなかった。町にはお世話になっていたので、今日この日を生きて迎えることができたなら、今回のこの寄贈のことを前から考えていました」と話されていました。

けやき会が清掃活動奉仕と ヤマメの放流

須恵町の水と緑を守るために環境整備活動を続けているけやき会（高橋重義会長）が、6月12日（日）にシヨウケ越と須恵ダム上流の清掃活動を実施しました。また、今回はヤマメの放流も行いました。これは、16年ぶり2度目の放流でした。

同会では、この清掃活動を毎



年実施しています。今回は、少年相撲大会と重なり男性会員の参加が少なかったために、女性の応援を得て13人での作業となりました。会員のみなさんは猛暑の中、不法投棄された自動車のバッテリーや生ごみ、空き缶、ポリ容器などを回収しました。会員の一人は「道沿いにフェンスは設置されていますが、フェンスのない所から一部の心ない人たちが捨てたゴミが、緑の美しい景観を無残にも壊しています。本当に残念でなりません。会員の間では「ゴミを捨てないでください」と書いた幕を作つて、通行人に訴えようという声も出ています。不法投棄や車からのポイ捨てが、いつの日かなくなることを願ってやみません」と話されていました。